



未来社会とITシリーズ 第3回 特別講義

真のDXで
未来を切り拓く

日本初の保険会社が140年以上「人材」と「データ」を大切にしている理由

日本はすでにDX後進国と言われています
なぜ日本でDXが進まないのか
その真因はどこにあるのか
日本の近代化を支えた日本初の保険会社である
東京海上グループの事例から見る
真のDXの実現に向けた鍵とは

2022年

1月19日(水) 18:30 - 20:15

対象: 京都大学 学部生、大学院生、教職員

会場: 京都大学 時計台記念館百周年記念ホール
(京都大学 本部構内)

開催: 対面及びオンライン配信

概要

挨拶 「未来社会に向けた学び」 (5分)

戸田 圭一 教授 京都大学 経営管理大学院長

第1部 創業140年企業の挑戦の軌跡
「人材」と「データ」を大切にしている理由 (20分)

原田 晋 東京海上日動火災保険(株) 常務取締役

第2部 デジタル人材育成における最新事例
大学-企業間連携の重要性 (40分)

角田 仁 教授 千葉工業大学 社会システム科学部

第3部 THE保険の先にあるもの
東京海上グループのDXの今 (40分)

村野 剛太 東京海上日動火災保険(株) IT企画部部长

お申し込みはこちら▶



未来社会とITシリーズ 第3回 特別講義

真のDXで 未来を切り拓く

日本初の保険会社が140年以上
「人材」と「データ」を大切に続ける理由

保険は
冒険から生まれた。

To Be a Good Company



東京海上日動

Speaker

挨拶

「未来社会に向けた学び」



戸田 圭一 教授
経営管理大学院

京都大学大学院修士課程修了、アイオワ大学大学院博士課程修了(Ph.D.)。(株)ニュージェック、京都大学防災研究所、京都大学大学院工学研究科を経て現職。2020年からは経営管理大学院院長も務める。2021年6月土木学会功績賞。

第1部 創業140年企業の挑戦の軌跡

「人材」と「データ」を大切に続ける理由

日本初の保険会社として創業した東京海上グループは、なぜここまで成長することができたのか、そしてこれから何をめざすのか。「人材」と「データ」をキーワードに、これまでの事業創造の軌跡とこれからの変革への挑戦について語る。



原田 晋

東京海上日動火災保険(株) 常務取締役

東京海上日動のIT統括ならびにデジタル推進統括補佐を担う。東京海上ホールディングス常務執行役員を兼職、グループIT統括およびグループサイバーセキュリティ管理統括を担う。

第2部 デジタル人材育成における最新事例 大学—企業間連携の重要性

真のDX&デジタル化を実現するために日本が遅れているのは組織と人材。本発表では海外(特にアジア)や国内(特に地方)における最新の取り組み事例や大学—企業間の連携事例も紹介する。



角田 仁 教授

千葉工業大学 社会システム科学部

デジタル人材育成学会会長。博士(筑波大学)。東京海上日動に30年間勤務してIT部門、営業推進部門、海外部門を経験し、最後はIT企画部参与(部長)。著書に『デジタル人材育成宣言』等。2020年情報処理学会論文賞。

第3部 THE保険の先にあるもの 東京海上グループのDXの今

テクノロジーとデータを徹底的に活用し、DXを進める東京海上グループ。ビジネスとITが一体となりカルチャー変革を進め、新しい世代が活躍する「デジタル維新」真っ最中にある同社の今、について語る。



村野 剛太

東京海上日動火災保険(株) IT企画部部長

京都大学卒業後、東京海上日動でITインフラと保険システムの企画・開発・運用を経験し、現在は同社のDXを推進している。日本データマネジメント・コンソーシアム理事、日経ITイノベーターズ幹事、京都大学大学院非常勤講師。



お申し込みはこちら▶

情報学ビジネス実践講座

京都大学と協力企業(ANAシステムズ、NTTデータ、DMG森精機、東京海上日動火災保険、三井住友銀行・日本総合研究所、日本電気)がデジタル時代の社会で活躍するために、ITとそのビジネスへの活用を実践的に学べる場を提供することを目的に設立した産学共同講座

詳細／お問い合わせはこちら：

情報学ビジネス実践講座 事務局

PIB@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

<http://www.pib.i.kyoto-u.ac.jp/>

